

重点戦略の構成（案）

【戦略名はいずれも仮称】

- とやまの価値創造戦略 ～「大ゴールデン回廊」の拠点を目指して～ . . . P 1
- 富山の魅力、存在感をアピールするグローバル展開の推進戦略 . . . P 2
- 本格的な人口減少社会に立ち向かう人と地域の活性化戦略 . . . P 3
- 災害に強く、環境にやさしい「未来調和型の県づくり」戦略 . . . P 4
- 県民が健康・元気でいきいきと暮らせる社会の構築戦略 . . . P 5

重点戦略テーマ

とやまの価値創造戦略 ～「大ゴールデン回廊」の拠点を目指して～

戦略のねらい

- ・第4次産業革命による技術革新やイノベーションの動向を取り込み、生産性の向上と新たな付加価値の創出により、本県産業のさらなる成長に結び付けていくことが必要です。
- ・一方、経済的な豊かさだけでなく、心の豊かさが求められており、多様な文化活動の振興や新たな文化の創造が必要です。
- ・このため、広域交通体系等の整備により、人・物・情報の流れを活性化し、経済・文化の両面でイノベーションと人材の高度化による価値創造の流れを創出し、本県の強みとする分野での拠点性の確立を図ります。
- ・さらには、将来、北陸新幹線の全線開業によって「大ゴールデン回廊」が創出され、本県をはじめとする北陸地域がその重要な一角を担うとともに、環日本海地域の拠点県として飛躍することを目指します。

戦略の展開方向

- ・北陸新幹線の大阪までの早期全線開業を目指すとともに、高速道路、港湾、空港などの広域交通体系の整備を推進します。
- ・また、本県産業の基礎力を底上げするとともに、イノベーションを取り込み将来性のある分野への進出を図り、産業県としての発展を目指します。
- ・さらに、本県の有する文化的ポテンシャルを発展させ、質の高い新たな文化の創造を目指します。
- ・このため、経済や文化の発展を担う、高度人材の育成、呼び込みを図ります。

戦略の体系

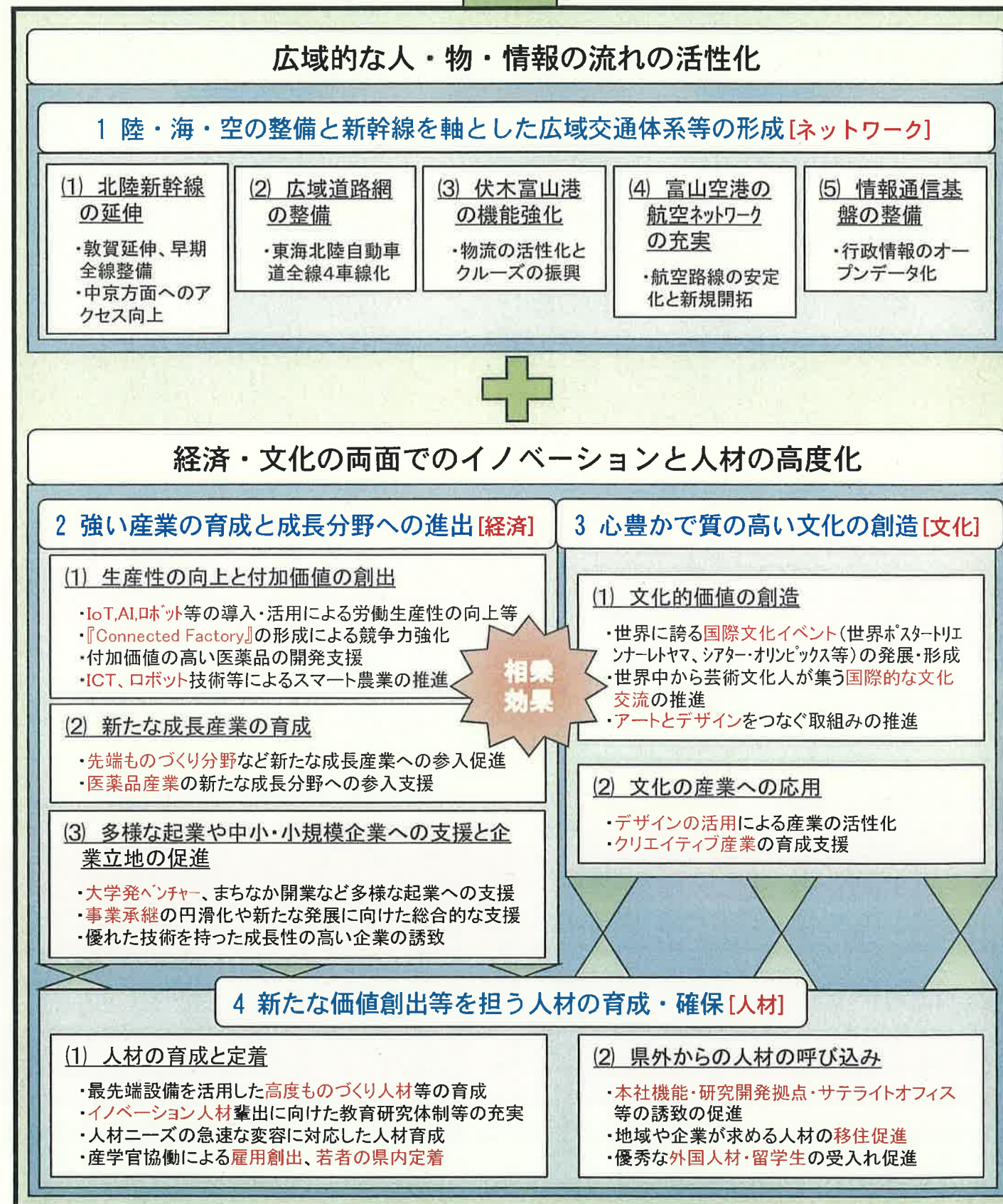
- 1 陸・海・空の整備と新幹線を軸とした広域交通体系等の形成**
 - 北陸新幹線の敦賀延伸、早期全線整備
 - 東海北陸自動車道の全線4車線化をはじめとする広域道路網の整備
 - 物流の活性化とクルーズの振興による伏木富山港の機能強化
 - 航空路線の安定化と新規開拓による富山空港の航空ネットワークの充実
 - 行政情報のオープンデータ化による地域課題の解決と新しいビジネスの創出
- 2 強い産業の育成と成長分野への進出**
 - IoT、ICT等の導入による生産性の向上と技術の高度化・製品の高付加価値化
 - 先端ものづくり分野など新たな成長産業への参入促進と医薬品産業の新たな成長分野への参入支援
 - 多様な起業や中小・小規模企業への支援と優れた技術を持った成長性の高い企業の立地促進
- 3 心豊かで質の高い文化の創造**
 - 国際文化イベントの発展やアートとデザインをつなぐ取組みによる文化の創造
 - デザインの活用による産業の活性化
- 4 新たな価値創出等を担う人材の育成・確保**
 - 高度ものづくり人材、イノベーション人材等の育成と若者の県内定着
 - 本社機能・研究開発拠点等の誘致などによる県外からの人材の呼び込み

イメージ図

将来の「大ゴールデン回廊」創出の際には

- ・大ゴールデン回廊の重要な一角を担う。
- ・環日本海地域の拠点県として飛躍する。

価値創造の流れを創り、富山県の強みとする分野での拠点性を確立



重点戦略テーマ

富山の魅力、存在感をアピールするグローバル展開の推進戦略

戦略のねらい

- ・美しい自然環境、新鮮で美味しい食、優れた伝統文化・伝統芸能、伝統工芸品など多彩な魅力を有する富山の「強み」をさらに磨き上げ、発信することにより、国内外から「選ばれ続ける観光地」を目指すとともに、地域の伝統文化・産業の基盤強化を図る。
- ・グローバル社会の進展の下、ものづくり県富山から生まれた高品質な製品、農林水産物等について、国内市場はもとより、環日本海、アジア地域をはじめとした海外への輸出を拡大するなど、積極的に海外展開を図ることにより、世界における富山の存在感アップを目指す。

戦略の展開方向

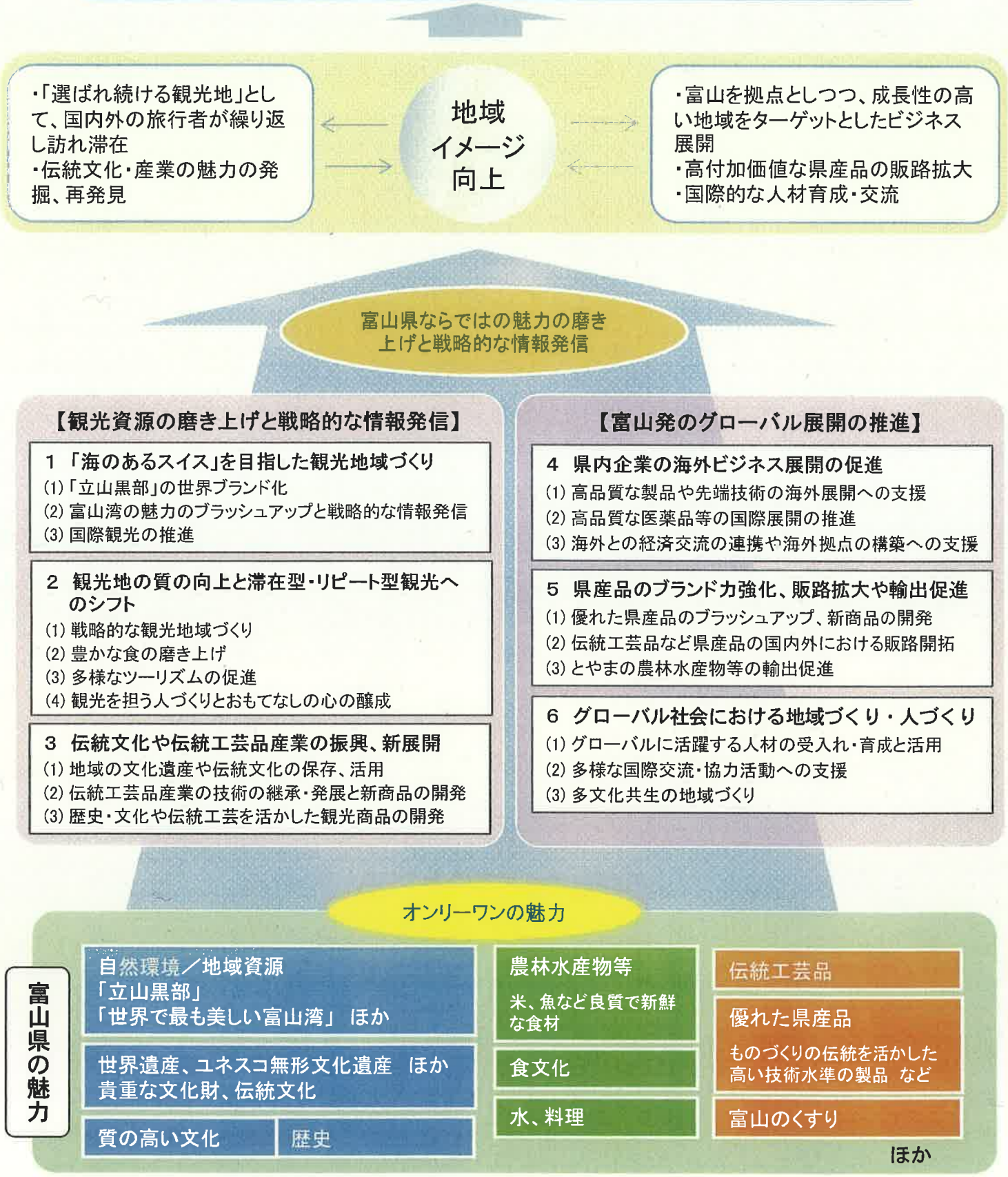
- ・立山黒部、五箇山、富山湾など世界的にも評価されるべき観光資源の魅力のブラッシュアップと国内外への戦略的な情報発信を推進するとともに、観光客にリピートされるよう満足度の向上に努める。
- ・県内の伝統文化・芸能の保存・継承を推進するとともに、新商品開発など伝統工芸品産業の活性化を図る。
- ・富山県を起源とし世界でも通用する産業技術を活かした企業のグローバル展開を一層推進するとともに、グローバルに活躍する人材を育成・確保し、幅広い分野での国際交流を推進する。
- ・富山県のような魅力が多くの方に認知されるよう県産品の積極的な売り込みを図るとともに、新たなブランドとなるべき地域資源を発掘し、戦略的な展開を目指す。

戦略の体系

- 1 「海のあるスイス」を目指した観光地域づくり
 - (1) 「立山黒部」の自然・歴史・文化などの魅力の世界ブランド化とグローバル展開
 - (2) 「世界で最も美しい富山湾」の観光資源としての活用・新たな魅力の創出と戦略的な情報発信
 - (3) 広域的な観光周遊ルートの開発等による戦略的な国際観光の推進
- 2 観光地の質の向上と滞在型・リピート型観光へのシフト
 - (1) 官民一体となった戦略的な観光地域づくりの推進
 - (2) 本県の豊かな食の魅力の磨き上げと観光商品化の推進
 - (3) 産業観光、ロケ地巡り、芸術文化など旅行者の多様なニーズに応えたツーリズムの促進
 - (4) 満足度の高いサービスの提供ができる観光を担う人づくりとおもてなしの心の醸成
- 3 伝統文化や伝統工芸品産業の振興、新展開
 - (1) 県内各地域で育まれている文化遺産や伝統文化の保存、活用
 - (2) 先人から受け継がれてきた伝統工芸品産業の技術の継承・発展と付加価値の高い新商品の開発
 - (3) 地域の歴史・文化や伝統工芸の魅力を活かした観光商品の開発、文化施設の活用や産業観光の促進
- 4 県内企業の海外ビジネス展開の促進
 - (1) 高品質な製品や先端技術を有する県内企業等の海外展開への支援(商談機会の創出、販路開拓等)
 - (2) 高品質な医薬品等の国際展開の推進
 - (3) 海外との経済交流の促進、海外企業との連携や海外拠点の構築への支援
- 5 県産品のブランド力強化、販路拡大や輸出促進
 - (1) 優れた県産品のブラッシュアップとブランド力の向上、ユニークな新商品の開発
 - (2) 伝統工芸品など県産品の国内外における販路開拓・販売力の強化
 - (3) とやまの農林水産物等の輸出促進
- 6 グローバル社会における地域づくり・人づくり
 - (1) グローバルに活躍する人材の積極的な受入れ、定着と活用、海外展開に対応できる人材の育成
 - (2) 多様な国際交流・協力活動への支援
 - (3) 外国人住民の増加、定住化の進展を踏まえた多文化共生の地域づくり

本県のオンリーワンの魅力に磨きをかけてグローバルに発信し、多様な人やモノの流れを活発化。県内企業等の海外での「稼ぐ力」の向上や観光誘客等により、県内産業・経済を活性化。

グローバル展開を通じた富山県の存在感アップ、地域経済の活性化



富山県の魅力

本格的な人口減少社会に立ち向かう人と地域の活性化戦略

戦略のねらい

- 生産年齢人口の減少等により、労働力の不足など社会経済の活力低下が懸念されることから、若者、女性、高齢者、障害者などあらゆる人々が活躍できる環境づくりや地域の活性化に向けた取組みが求められます。
- 県外から多様な人材を受け入れるとともに、男女を問わず、若者、子育て世代、高齢などの人々が意欲を持って働き、能力を発揮できるよう仕事と生活が調和した働き方の実現を目指します。
- 技術革新による社会の変化に対応し、ニーズの高い分野で新たな価値を生み出す力を持ち活躍できる人材の育成を図ります。
- 地域コミュニティ活動への多様な参加を促進するとともに、中心となって活動できる人材を育成し、地域の活力の維持・活性化につなげます。
- 少子化の流れに歯止めをかけるため、子どもを産み育てやすい環境づくりを進め、出生数の増加につなげます。

戦略の展開方向

- UIターンや移住を促進しつつ、男女を問わず人々が意欲と能力に応じて働き、社会経済を支えるとともに、職場における働き方改革を推進し、仕事と生活の調和を重視した社会に転換していきます。
- 技術革新による社会の変化に対応し、新しい価値を創造する力を育成するとともに、生涯にわたった質の高い学びの機会の充実に取り組めます。
- ふるさとへの愛着を育み、地域の伝統文化等の保存・継承に向けて取組むとともに、特に中山間地域における、持続可能な地域運営の仕組みづくりを推進します。
- 職場や地域で、子どもを産み育てやすい環境づくりを進めるとともに、結婚、妊娠・出産、子育てまでの切れ目のない支援を推進します。

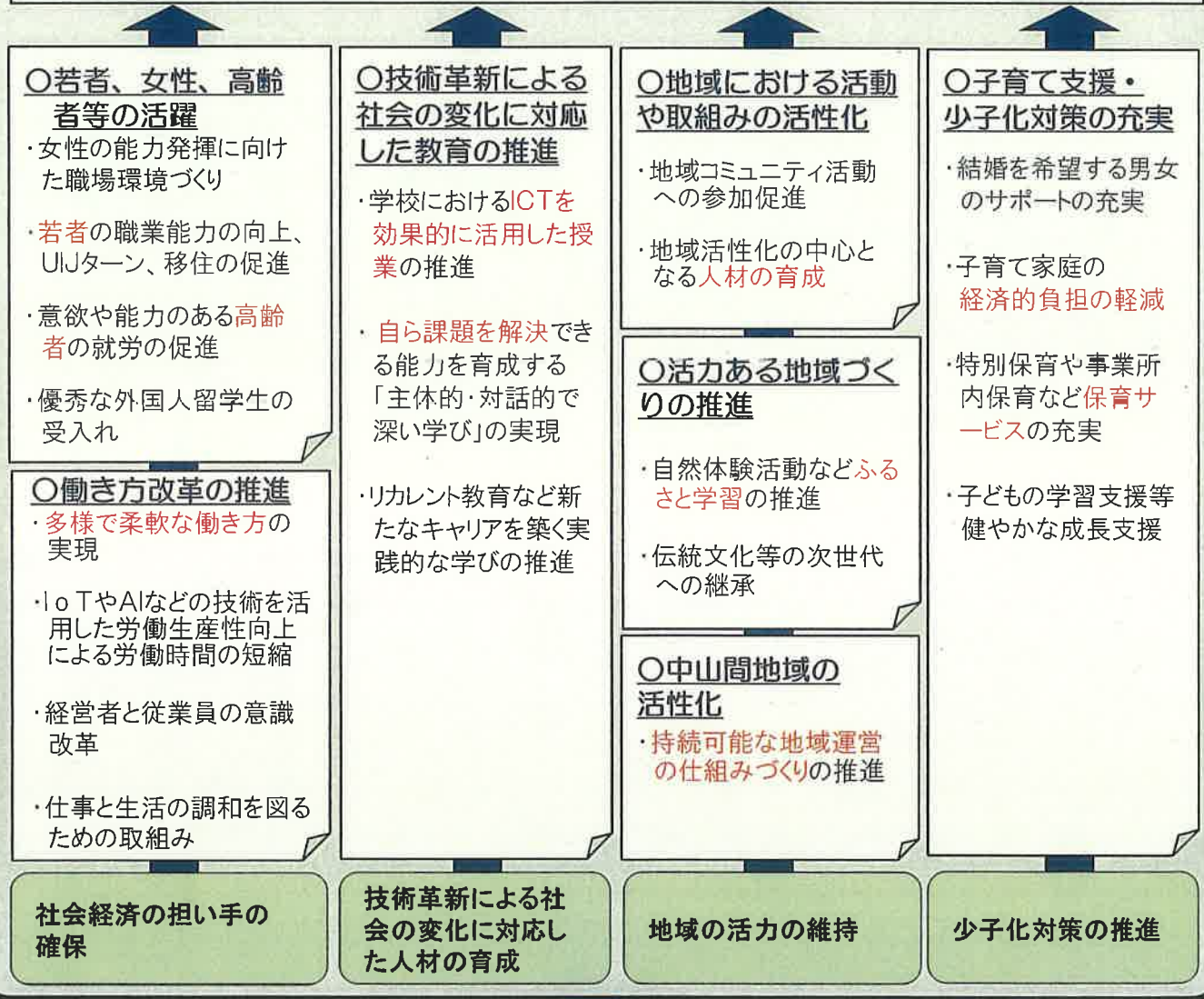
戦略の体系

- 働き方改革と若者、女性、高齢者等の活躍**
 - IoTやAIなどの技術を活用した労働生産性の向上による労働時間の短縮、多様で柔軟な働き方の実現等、働き方改革の推進
 - 女性の能力発揮への支援や子育てしながら働き続けることができる職場環境づくり
 - 若者の職業能力の向上やインターンシップの推進による職業意識の向上、UIターン・移住の促進
 - 意欲や能力のある高齢者のマッチングや就労の促進、働く環境の整備
 - 優秀な外国人留学生の受入れ、育成及び活躍できる環境の整備
- 技術革新による社会の変化に対応した教育の推進**
 - 学校におけるICTを効果的に活用した授業の推進とその環境の整備
 - 自ら課題を解決できる能力を育成する「主体的・対話的で深い学び」の実現
 - 大学等への社会人受入れをはじめリカレント教育など新たなキャリアを築く実践的な学びの推進
- 暮らしている地域の活力維持、活性化**
 - 地域コミュニティ活動への参加促進と、コミュニティや地域活性化を中心となって担う人材の育成
 - 自然体験活動などふるさと学習や地域の伝統文化等の活動の促進による活力ある地域づくりの推進
 - 中山間地域の活性化に向けた持続可能な地域運営の仕組みづくりの推進
- 子育て支援・少子化対策の充実**
 - 結婚を希望する男女の出会いから結婚、妊娠・出産までの切れ目のない支援の推進
 - 特別保育や事業所内保育など保育サービスの充実、子育て家庭の経済的負担の軽減
 - 学習支援や居場所づくりなど、地域が一体となって取り組む子どもの健やかな成長支援

イメージ図

次世代を育成しつつ社会を支える人材が意欲的に働き、同時に家庭や地域での役割を果たすことができる生き方モデルの構築と魅力ある地域の実現

- 県外から多様な人材を受け入れつつ、男女を問わず、若者、子育て世代、高齢などの人々が意欲を持って働き、社会経済を支えるとともに仕事と生活が調和した働き方を実現する。
- 技術革新による社会の変化に対応し、新しい価値を生み出す力を持ち活躍できる人が育つ。
- 地域活動等が活発に行われ、魅力的な地域となり、人口流出を防止するとともに、地域の活力の維持、活性化につなげる。
- 職場や地域で、子どもを産み育てやすい環境づくりが進み、出生数の増加につなげる。



- 生産年齢人口の減少により、社会経済の担い手の確保が求められる。
- 技術革新による社会の変化に対応できる人材が求められている。
- 地域を支える人の減少により地域の活力の維持が難しくなっている。
- 未婚化、晩婚化等の進行による少子化の流れに歯止めがかかっていない。

災害に強く、環境にやさしい「未来調和型の県づくり」戦略

戦略のねらい

- 地震、火山、集中豪雨等による水害、土砂災害等の災害が全国で頻発しており、また、南海トラフ地震や首都直下型地震などの巨大地震の発生が懸念されている。
- この現状を踏まえ、急速に老朽化が進んでいる社会インフラの長寿命化や耐震化、本県のバックアップ機能の確保などをはじめとした各種災害対策の充実を図る必要がある。
- 地球規模の問題(地球温暖化、資源枯渇)から、廃棄物や野生動植物、環境汚染等の身近な問題に至るまで、様々な環境問題に直面しており、持続可能な社会の構築に向けた取り組みが必要である。
- 豊かな自然を守りながら災害対策への不断の努力を続けてきた富山の先人達の歴史と経験を活かし、防災と環境保全を両立させ、県民が未来に向けて安心して生活できる県づくりを目指す。

戦略の展開方向

- 大規模災害に備え、治山・治水・土砂災害対策などのハード整備を推進するとともに、災害発生時の被害を最小限にとどめるソフト対策の充実を図る。
- 太平洋側における大災害のリスクの高まりを踏まえたリダンダンシーの確保に向けた取り組みを進める。
- G7富山環境大臣会合の開催により環境意識が高まる中、県民、事業者、行政の連携のもと、富山県の地域特性や特長を活かして、循環型・低炭素・自然共生社会づくりを進める。
- 富山県のポテンシャルを活かして再生可能エネルギーを積極的に導入する。また、新たなエネルギーの利活用に向け研究開発を進める。
- 立山砂防の意義と価値への理解を深め、国内外に広める取り組みを進める。

戦略の体系

1. 防災・減災のための体制づくり

- 地震・津波対策、火山対策、原子力災害対策の充実
- 国民保護事案に対応できる危機管理体制の充実
- 県民自らが主体的に避難できる防災体制づくり
- 命や健康をまもる応急対策
- 災害に対応できる人づくり

2. 災害に強い県土づくり

- 太平洋側のリダンダンシーの確保
- 公共土木施設等の整備充実
- 公共土木施設等の長寿命化や耐震化
- 広域消防防災センター等の防災機能の強化
- 警察基盤の充実・強化

3. 循環型・低炭素・自然共生社会づくりと生活環境の保全

- 富山物質循環フレームワークの実現に向けた資源効率性・3Rの推進
- 低炭素社会の実現に向けた取り組みの推進
- 自然環境の保全や野生鳥獣の適正な保護と管理
- 安全で健康的な生活環境づくりと水資源の保全・活用
- 国際環境協力の推進

4. 多様な再生可能エネルギーの導入・活用と新たなエネルギーの利活用

- 地域特性を活かした小水力発電や地熱発電等の導入推進
- 水素やメタンハイドレートなど新たなエネルギーの利活用に向けた取り組みの推進

5. 防災の営みと環境保全の調和

- 立山砂防の普遍的価値の活用と展開
- 立山・黒部をはじめとした豊かな自然の保全と活用の調和
- 県民意識の醸成(人材育成)

イメージ図

<本県の特長>

- 標高3,000m級の立山連峰から水深1,000mの富山湾に至る高低差4,000mのダイナミックな地形
- 世界的な山岳景観をはじめとする世界に誇りうる美しい自然景観
(本州随一を誇る植生自然比率)
- 多雨・多雪がもたらす豊かで清らかな水環境 (全国2位の包蔵水力と地熱資源)
- 環日本海地域の日本海側の中央部に位置する大きな地理的優位性 (日本海国土軸の中核)
- 県民の高い環境意識、高度な環境技術を有する企業の立地

目指すべき将来像

自然と共生しながら発展してきた富山県の特性を活かし、**防災・減災、循環型・低炭素・自然共生社会づくり、再生可能エネルギー**等の先進地モデルとして確立

未来にわたり持続可能な (未来調和型)県づくり

災害に強く、
「日本一の安全・安心な県」づくり

環日本海地域をリードする
「環境・エネルギー先端県」づくり

防災・減災のための体制づくり

- 地震・津波対策、火山対策、原子力災害対策の充実
- 国民保護事案に対応できる危機管理体制の充実
- 県民自らが主体的に避難できる防災体制づくり
- 命や健康をまもる応急対策
- 災害に対応できる人づくり

災害に強い県土づくり

- 太平洋側のリダンダンシーの確保
- 公共土木施設等の整備充実
- 公共土木施設等の長寿命化や耐震化
- 広域消防防災センター等の防災機能の強化
- 警察基盤の充実・強化

循環型・低炭素・自然共生社会 づくりと生活環境の保全

- 富山物質循環フレームワークの実現に向けた資源効率性・3Rの推進
- 低炭素社会の実現に向けた取り組みの推進
- 自然環境の保全や野生鳥獣の適正な保護と管理
- 安全で健康的な生活環境づくりと水資源の保全・活用
- 国際環境協力の推進

多様な再生可能 エネルギーの導入・活用と 新たなエネルギーの利活用

- 地域特性を活かした小水力発電や地熱発電等の導入推進
- 水素やメタンハイドレートなど新たなエネルギーの利活用に向けた取り組みの推進

防災の営みと環境保全の調和

- 立山砂防の普遍的価値の活用と展開
- 県民意識の醸成(人材育成)
- 立山・黒部をはじめとした豊かな自然の保全と活用の調和

県民が健康・元気でいきいきと暮らせる社会の構築戦略

戦略のねらい

- ・ 高齢化、長寿命化が進む中、県民一人ひとりが、いつまでも元気に自立して暮らす期間を伸ばしていくことが重要である。
- ・ このため、本県の豊かな自然や安全でおいしい食など、健康・医療等の分野での非常に高いポテンシャルを活かしながら、「健康寿命日本一」を実現し、県民がいつまでも心身ともに健康でいきいきと暮らすことができる社会の構築を目指す。
- ・ 少子高齢化・人口減少が進む中、地域の支え合い機能の衰退や、医療・福祉・介護を担う人材の不足への対応も必要になっている。一方、県民の「住み慣れた地域で安心して暮らし続けたい」という希望は高い。
- ・ このため、支援を要する高齢者や障害者、子ども等を地域ぐるみで支え合うとともに、多様な就労・社会参加の場の整備など、全ての人々が社会での役割を持ち、住民の様々な生活課題に対し包括的な助け合いが行われる「富山型地域共生社会」の構築を目指す。

戦略の展開方向

- ・ 全ての県民が、運動や栄養、休養といった生活習慣の改善などの健康づくりに積極的に取り組める環境づくりを進め、また、高齢になっても、できる限り介護が必要にならないよう、生きがいづくりや介護・認知症予防の推進を図る。
- ・ 県民の福祉に対する意識を高め、地域ぐるみで支え合い、住民の様々な生活課題に対応し包括的な支援を行う体制の整備を図る。また、多職種によるチームケアにより、高度急性期から慢性期、在宅医療、介護に至るまでの一連のサービスが地域において切れ目なく提供できる体制の確保を図る。
- ・ 本県の優れた医療提供体制や勤務環境の整備等により医療・介護・福祉人材の確保を図る。

戦略の体系

1 いつまでも元気に自立して暮らすための気運づくりと健康づくりの推進

- (1) 経済団体や医療保険者、行政などが連携し、社会全体で健康づくりを推進する環境づくり
- (2) 減塩、野菜摂取などの食生活の改善、運動習慣の定着など、生活習慣改善の推進
- (3) 県民参加型イベントや競技大会の開催による、県民がスポーツに親しむ環境づくりの推進
- (4) 心に悩みを有する者の生活実態やニーズを踏まえた、こころの健康づくりの推進
- (5) 高齢者が生きがいを持って暮らすための社会活動参加と介護・認知症予防の推進

2 先進的な疾病予防の推進や健康管理の充実

- (1) 子どもの健やかな成長のための母と子の健康管理への支援など、乳幼児期の疾病予防
- (2) 健診機関や協定締結企業など関係機関との連携強化などによる、がん予防の推進
- (3) 健康・医療・介護等のビックデータの活用や「未病」対策の推進、IoT・本県のものづくり技術の活用等による県民の疾病予防や健康管理の推進

3 富山の伝統・資源を活かした健康の増進

- (1) 温泉や森林など全国に誇る豊かな自然を活かした健康増進
- (2) 地場産食材や伝統食文化を活かした「富山型食生活」の実践等による、豊かで安全な食を活かした健康づくり
- (3) OTC医薬品（一般用医薬品）の活用によるセルフメディケーションの推進

4 地域共生社会の構築に向けた包括的な支援体制の強化

- (1) 学校におけるボランティア体験学習や県民フォーラムの開催など福祉意識の高揚
- (2) 県手話言語条例(仮称)の制定など障害者に対する理解の促進や、高齢者、障害者、子ども等の権利擁護の推進
- (3) 医療・介護・生活支援等が切れ目なく提供され、地域ぐるみで支え合う、地域包括ケアシステムの深化
- (4) 富山型デイサービス(共生型サービス)やケアネット活動等の充実・発展と人材の育成
- (5) 共生型包括ケアネット(仮称)の構築などによる、育児・介護・障害・貧困等に対応できる包括的支援体制の整備

5 保健・医療・福祉・就労等の切れ目のない連携

- (1) ドクターヘリの活用など、高度救急医療や高度・専門的リハビリテーション医療を受療できる体制の充実強化
- (2) 医療機関・福祉施設の多職種チームの連携強化等による、在宅医療・介護連携の推進
- (3) クラウド型システムの構築など、ICT・AI等を活用した医療・介護・福祉サービスの充実
- (4) 高齢者、若者、女性、障害者等がいきいきと生きがいを持ち、多様な就労や社会参加ができる場の整備

6 医療・介護・福祉人材の養成・確保

- (1) 本県の優れた医療提供体制や介護・福祉の魅力のPR等による医師、看護師、介護福祉士、保育士等の人材確保の推進
- (2) 県立大学看護学部の活用など、より質の高い医療・介護・福祉サービスを提供するための教育・養成の充実
- (3) ICT・介護ロボットの導入等、働きやすい勤務環境の整備や処遇改善等による職場定着支援

【現状】・高齢化・長寿命化の進展による、県民の健康・医療に対する関心の高まり

- (1) 社会全体で健康づくりを推進する環境づくり
- (2) 生活習慣の改善
- (3) スポーツに親しむ環境づくりの推進
- (4) こころの健康づくりの推進
- (5) 高齢者の社会活動参加と介護・認知症予防の推進

- (1) 乳幼児期の疾病予防
- (2) がん予防の推進
- (3) 健康・医療・介護等のビックデータの活用や「未病」対策の推進、IoT・本県のものづくり技術の活用等による県民の疾病予防や健康管理の推進

- (1) 豊かな自然を活かした健康増進
- (2) 豊かで安全な食を活かした健康づくり
- (3) 「くすりの富山」の強みを活かしたセルフメディケーションの推進

1 いつまでも元気に自立して暮らすための気運づくりと健康づくりの推進

2 先進的な疾病予防の推進や健康管理の充実

3 富山の伝統・資源を活かした健康の増進

目標1
健康寿命日本一の実現

県民がいつまでも健康でいきいきと暮らすことができる社会の構築

県民が健康・元気でいきいきと暮らせる社会の構築

年齢や障害の有無にかかわらず、県民誰もが、住み慣れた地域で安心して生活できる社会の構築

目標2
富山型地域共生社会の構築

4 地域共生社会の構築に向けた包括的な支援体制の強化

- (1) 福祉教育の充実
- (2) 障害者に対する理解の促進や高齢者、障害者、子ども等の権利擁護の推進
- (3) 地域包括ケアシステムの深化
- (4) 富山型デイサービス(共生型サービス)やケアネット活動等の充実・発展と人材の育成
- (5) 育児・介護・障害・貧困等の様々な課題に対応できる包括的支援体制の整備

5 保健・医療・福祉・就労等の切れ目のない連携

- (1) 高度救急医療体制やリハビリテーション体制の充実強化
- (2) 在宅医療・介護連携の推進
- (3) ICT・AI等を活用した医療・介護・福祉サービスの充実
- (4) 高齢者、若者、女性、障害者等が多様な就労や社会参加ができる場の整備

6 医療・介護・福祉人材の養成・確保

- (1) 本県の優れた医療提供体制や介護・福祉の魅力のPR等による人材確保の推進
- (2) より質の高い医療・介護・福祉サービスを提供するための教育・養成の充実
- (3) 働きやすい勤務環境の整備や処遇改善等による職場定着支援

【現状】・家族機能や地域の支え合い機能の低下
・住み慣れた地域で安心して暮らし続けたいという意識の高まり